

第2次 健康泉大津21計画 泉大津市食育推進計画



概要版

市民すべてが共に支え合い
健康で豊かな生活を送る

平成27年3月



泉大津市

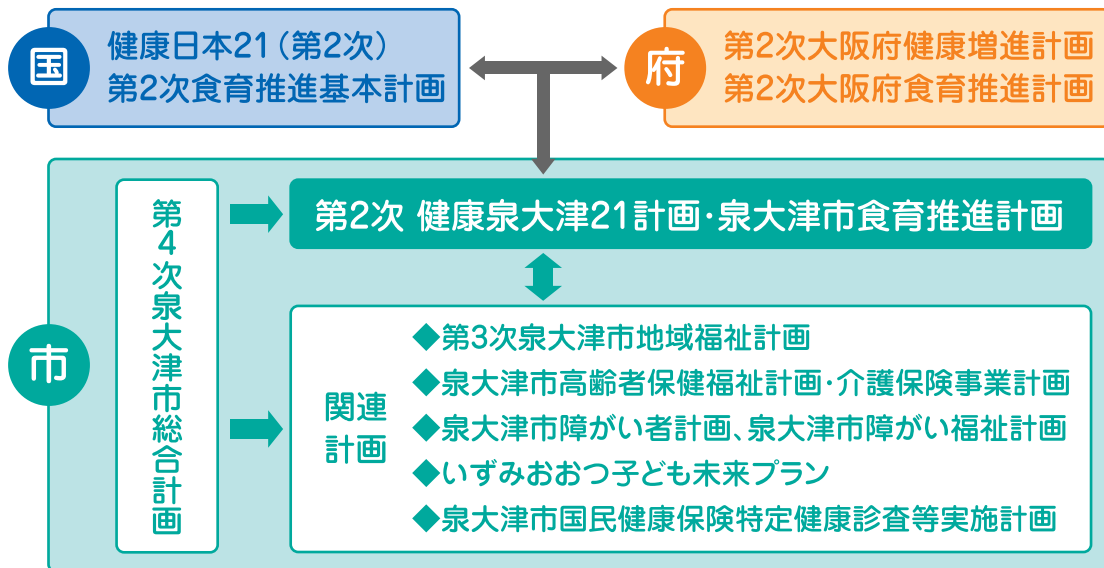
基本理念

本計画では、第4次泉大津市総合計画の中のひとつである「誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり」を踏まえ、「市民すべてが共に支え合い健康で豊かな生活を送る」ことのできるまちの実現を共通の基本理念とします。

この基本理念に沿って、「健康泉大津21計画」では、“健康寿命を延ばす”ことを、「泉大津市食育推進計画」では、“自分に合った食生活を実践できる力を育む”ことを全体目標に、市民・地域・行政・関係機関等が連携・協働を図り、一体となって市全体に取り組みを進めていきます。

計画の位置づけ

本計画は、「第4次泉大津市総合計画」を上位計画とし、関連計画や国、大阪府の計画に対応した計画となっています。



計画の期間

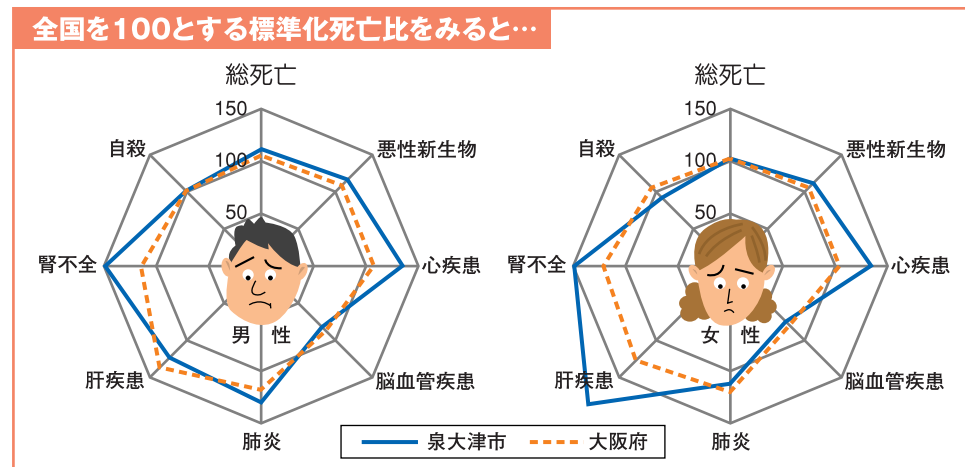
本計画の期間は、平成27年度から平成31年度の5年間です。なお、5年後に評価・見直しを行うとともに、2つの計画を一体的に策定することとします。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
第2次健康泉大津21計画	計画期間:平成27～31年度					健康泉大津21計画・泉大津市食育推進計画の一体化				
第2次泉大津市食育推進計画	計画期間:平成27～31年度									

泉大津市の健康・食育の概況

◆がん、生活習慣病予防には規則正しい生活習慣づくりが大事

●全国、大阪府と比較して悪性新生物(がん)、心疾患や腎不全で死亡する割合が高い!



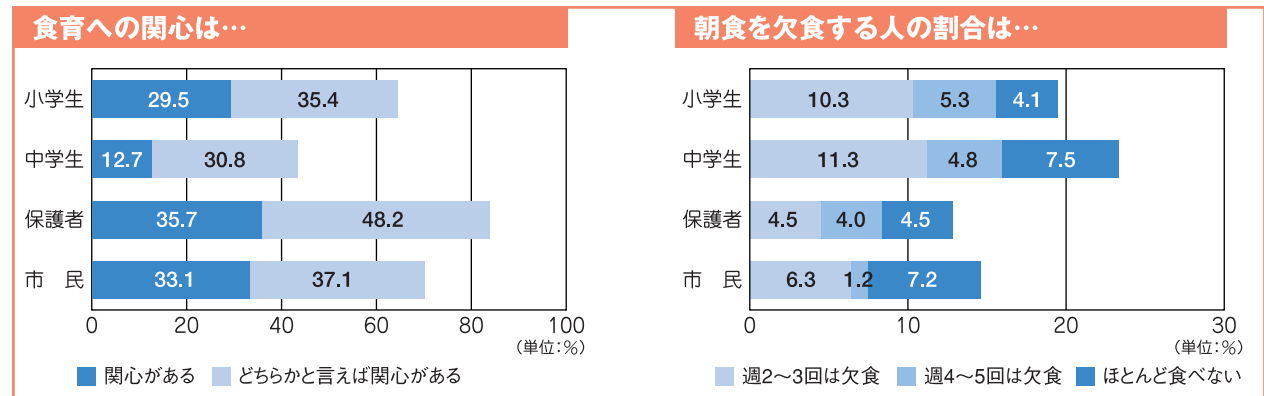
〔平成20年～平成24年人口動態保健所・市区町村別統計〕より

国や府に比べて、がん、心疾患や腎不全で死亡する割合が高くなっています。また、生活習慣病やその重症化などにより要介護状態となる人も増加しています。



◆食を基盤にし、規則正しい生活習慣を

●小・中学生の「食育」への関心が低い!朝食の欠食率が高い!



〔平成26年泉大津市健康・食育に関わるアンケート調査〕より

中学生は、他の世代に比べて食育への関心が低くなっています。



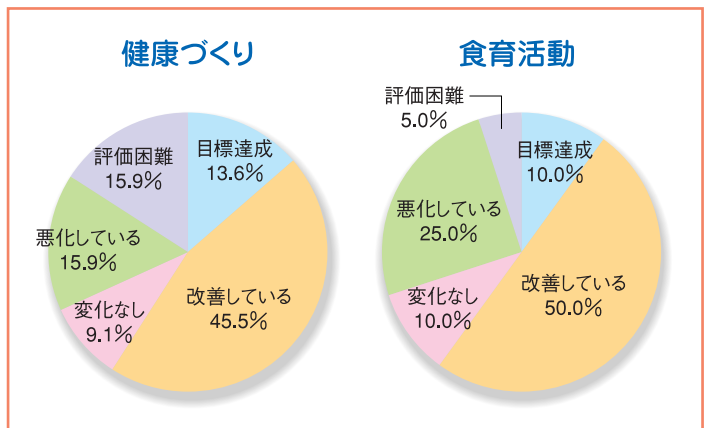
小学生や中学生は、大人に比べて朝食の欠食率が高くなっています。

◆1次計画の目標達成状況

前計画の達成状況を評価したところ、計画策定時と比べ、「目標達成」および「改善している」の項目の合計は、両計画ともに約6割となっています。

目標達成した主なものは、歯科保健分野やメタボの認知度、農業体験活動実施数などで、悪化した主なものは、朝食の欠食率、ストレス対処法を持つ成人の割合などでした。

●改善傾向にあるものの、一層の健康・食育活動



第2次健康泉大津21計画

泉大津市では、健康寿命の延伸、生活の質の向上をはかるため、健康増進計画である「健康泉大津21計画」を平成17年3月に策定し、平成26年度に計画の終期を迎えました。

健康づくりを取り巻く環境の変化を踏まえ、第2次計画では、第1次計画の理念を引き継ぎながら、新たに「子育て世代の健康づくりの推進」、「地域で取り組む健康づくりの推進」を重点施策に加え、ライフステージに応じた間断ない健康づくりへの支援に取り組んでいきます。

重点施策

1

がん・生活習慣病対策の推進

国や府に比べて、悪性新生物(がん)、心疾患や腎不全で亡くなる人の割合が高くなっています。がん・生活習慣病予防には規則正しい生活習慣づくりと、定期的な健康診査やがん検診を受けることが非常に重要となります。

施策と主な取り組み

◆がん・生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発

- がん・生活習慣病予防のための情報発信
- 測定機器等を用いた体験型の健康づくり啓発
- 健診・健康相談など一人ひとりの健康づくりへの支援
- がん予防のためのたばこ対策の推進

◆受診しやすい健(検)診体制の整備と受診率の向上

- 複数の健(検)診の同時実施
- 休日健(検)診やレディースデー検診の実施
- 受診率向上に向けた受診勧奨の強化
- 精度管理^{*}の質の向上

^{*}一定の質を担保するため、がん検診が正しく行われているか管理すること

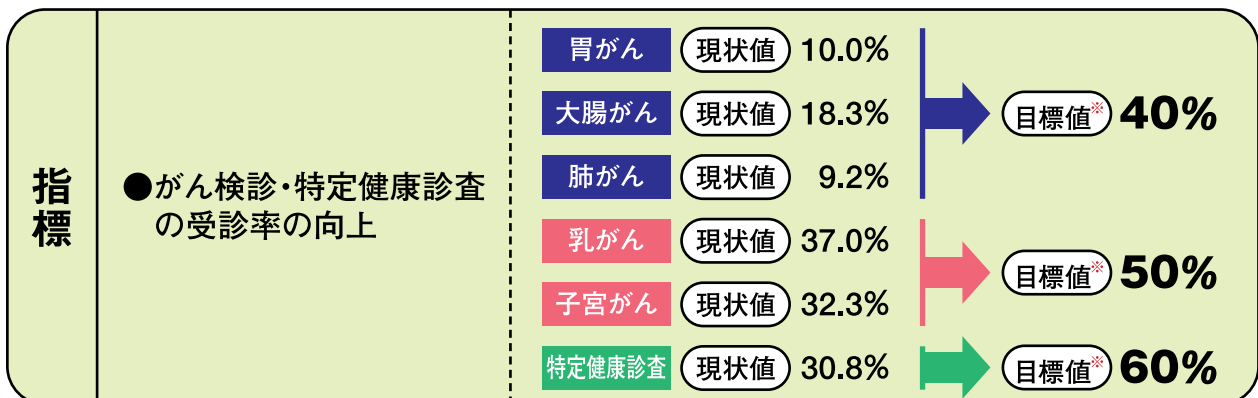


体組成計測定(インボディ)の様子

結果シート例



ホテル健診(特定健康診査)の様子



^{*}がん検診の目標値の設定は、国の「がん対策基本計画」に準じています。
また、特定健康診査の目標値の設定は、国の「特定健康診査等基本指針」に準じています。

重点施策

2

子育て世代の健康づくりの推進

生活習慣病の予防をはじめとする健康づくりは、若い世代からの意識の向上、取り組みが重要です。特に、子育て世代の女性の健康は、家族への影響も大きく、次世代の育成の上でも大切です。

施策と主な取り組み

◆子育て世代の健康づくりへの支援の充実

- がん・生活習慣病発症予防に関する情報発信
- 妊婦の禁煙、禁酒など次世代の健康づくりにつながる支援
- 家族で取り組む健康づくりへの支援

◆子育て世代の女性の健康づくり応援企画の推進

- 乳幼児健診、育児サークル等での健康づくり啓発
- 子育て世代の女性を対象にしたセット健診の実施
- 保育付きの健診や健康講座の実施



乳幼児健診場面での保護者への保健指導の様子



運動講座(ヨガ)の様子

指標

●健康診査の受診率の向上
(3歳6か月児母親)

現状値 38.7%



目標値 44%

重点施策

3

地域で取り組む健康づくりの推進

市民一人ひとりが楽しみながら健康づくりを続けるには、家族の協力や仲間づくりが重要となってきます。市民参加や市民が主体の健康づくり活動の支援に重点を置き、地域で取り組む健康づくりを推進していきます。

施策と主な取り組み

◆健康に関する情報発信と知識の普及啓発、環境整備

- 市内のウォーキングマップ情報等の発信
- 健康づくりを推進するための環境整備
- がんや生活習慣病等に関する出前講座の実施

◆健康づくり自主活動グループ等の育成と活動支援

- 地域の団体などの健康づくりに関する活動支援
- 地域で健康づくりを推進していくための人材育成
- 主体的に自主活動グループとして継続的に取り組めるよう支援



老人クラブ連合会「体力測定会」



森町自治会ウォーキングサークル

指標

●地域や職場で健康に関する学習や活動を行うグループに参加したことがある人の増加

現状値

保護者 14.1%
市民 17.6%



目標値

保護者 19%
市民 21%

第2次泉大津市食育推進計画

子どもを中心とした食育の推進

「食」は私たちが生涯にわたって自分らしく生き生きと過ごすために欠かせないもので、生きる上での基礎となります。

本計画では、“自分に合った食生活を実践できる力を育む”ことを全体目標に、市民一人ひとりが生涯を通じ、健康で豊かな生活が送れるよう、特に次世代を担う子どもに焦点をあて、食の大切さを理解し感謝の念を育み、その知識や心を伝えていけるよう取り組みを進めていきます。

重点施策

1

体験活動を通じた食育の推進

体験活動を通して食べることの楽しさや重要性を感じ、身に付けた「食」に関する知識や「食」を選択する力は自らの変化だけでなく、子どもから保護者や周囲の大人への波及も期待されます。

また、ともに体験活動をおこなうことで周囲とのコミュニケーションが図れ、食文化の継承などにもつながります。

施策と主な取り組み

◆体験活動の推進

- 栽培活動や調理実習など、子どもたちの体験活動の充実
- 親子、地域とのコミュニケーションの場づくり
- 野菜くずからできる堆肥の利用やごみの軽減を目的としたエコクッキングなど環境に配慮した取り組み



指標

食育に関心を持っている人の割合

現状値

小学生 64.9% 保護者 83.9%
中学生 43.5% 市民 70.2%

目標値

95%



重点施策

2

食を通じた規則正しい生活習慣、食生活づくり

子どものころから正しい生活リズムを確立し、毎日朝ごはんを食べるなど規則正しい生活習慣を身に付けることは、とても大切です。

また、子どもの生活習慣は各家庭における状況が大きく影響を与えるため、保護者自身が規則正しい生活習慣を理解し、実践できるよう取り組みを進めます。

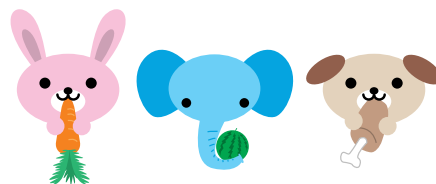
施策と主な取り組み

◆早寝・早起き・朝ごはん

- 子どもたちへの規則正しい生活習慣実践への支援
- 生活習慣を見直すための調理実習など、保護者に対する取り組みの支援

◆自分に合った食生活の選択

- 食に関する学習の場の提供
 - 食に関する相談機会の充実
 - 「うちのお店も健康づくり応援団の店^{*}」の周知
- *府民の健康づくりに役立つよう、メニューの栄養成分表示やヘルシーメニューの提供などの取り組みに協力するお店のことです。



小学校での食育授業

指標	1日3食規則正しく食事をとっている人の割合	現状値	目標値
		小学生 90.9% 保護者 83.4% 中学生 85.3% 市民 79.9%	95%

重点施策

3

食に関する情報発信の仕組みづくり

食に関する情報が氾濫する中で、正しい食情報の発信をおこなうとともに、信頼できる情報を入手できる環境の整備を進めます。

また、食に関する知識と理解を深め、自らの判断で情報を選択できる力を習得するための取り組みをおこないます。

施策と主な取り組み

◆情報発信の環境整備

- 市の広報紙やホームページ、食育展などでの情報発信の強化
- 出前講座やイベントにおける食に関する情報提供
- 地域における食や健康づくりを担う「地域ボランティア」の養成



各団体の取り組みを紹介する食育展



指標	食育という言葉や意味を知っている人の割合	現状値	目標値
		小学生 17.6% 保護者 72.9% 中学生 20.9% 市民 55.9%	95%

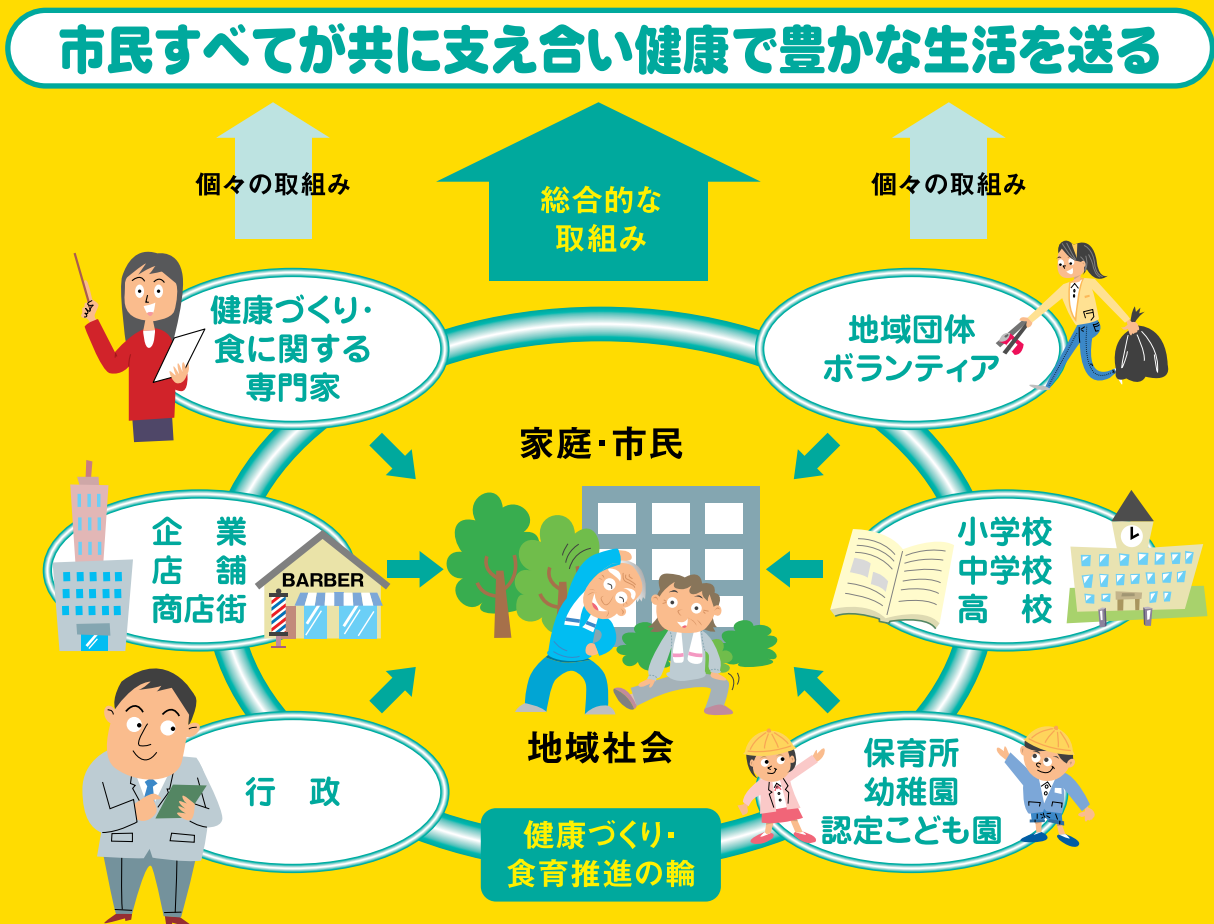
計画の推進体制

健康づくり活動のしくみづくりに向けては、担い手である市民、地域、行政、関係機関等がそれぞれの役割と責任を自覚し、主体的に取り組むことが最も重要です。

このため、ホームページや広報紙など様々な手段で健康づくりや食育の情報を提供するとともに、保健事業や学習活動などのあらゆる機会に、本計画の効果的な推進が図られるように啓発活動を行います。

このような活動を通じて、市民、団体、学校、地域、企業などの自主的な活動を促進し、それらが連携・協働し、健康づくりや食育推進活動の輪となって、全市的に健康に関する意識を高める環境づくりを進めます。

市民、団体との連携による健康づくり・食育推進のイメージ



第2次 健康泉大津21計画・泉大津市食育推進計画 概要版

編集・発行／泉大津市健康推進課(泉大津市立保健センター)
〒595-0013 泉大津市宮町2番25号
TEL:0725-33-8181 FAX:0725-33-4543